

包摂(インクルーシブ)社会をつくる ~新たな社会的排除の解決に向けて~

受講

無料

TFU
Tohoku Fukushi University

実学臨床研究

30回

セミナー

※本学大学院社会福祉学専攻の
授業科目としても開講されます

■ 開催日時

2024年2月16日(金)
18:30-20:00

■ 受講方法

Zoomオンライン開催

※ Zoom情報は開催2日前より送付します

■ 申込方法 Webサイトより登録

<https://tfu-jitsugaku-seminar23.peatix.com/view>



ワンテーマ講座

スーパービジョンについて

~包摂社会をつくるうえでの支援環境づくりとして~

※2023年度は、年間テーマである「包摂(インクルーシブ)社会をつくる~新たな社会的排除の解決に向けて~」を
① 権利擁護と当事者主体、② 地域とつながる・地域をつくる、③ 地域包括ケアと多職種連携 の観点から展開し深めております。

■ テーマ趣旨

今日、さまざまな領域において人材不足とそのための対応が模索されている。社会福祉の人材をめぐる課題は、量的な問題だけでなく、対人支援としての固有の課題性や支援・サービスの質にかかわる問題、それらを実施する機関・事業所の問題など多岐にわたる観点から議論されてきた。なかでも、対人支援としての感情労働の性格を有する福祉実践の現場においては、実践者の燃え尽きによる離職やメンタルヘルスの問題、利用者への不適切なかかわりや巻き込まれといったサービス・支援の問題などに対処することが求められている。そのための人材育成としてのスーパービジョンの意義と必要性と今日的な課題について考えていきたい。

■ キーワード

人材育成と支援環境づくり
スーパービジョンの意義と必要性
スーパービジョンの課題

■ 講師紹介

田中 尚 (たなか・ひさし)

東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科 教授
精神保健福祉領域でのソーシャルワーク実践等を経て、岩手県立大学、東北福祉大学でソーシャルワーク関連の授業を担当するとともに、医療、教育、司法等と福祉との連携・協働等に関する実践研究に取り組む。

■ 福祉実践・実践研究への手がかかり

福祉実践においては、実践者自身を媒介として、利用者や家族などとの支援関係を基にかかわり、それらのかかわりの意味を深めながら、新たに利用者や家族への生活世界にかかわっていく。そこでの気づき、課題の発見、それらをめぐる多様な観点からの省察は、福祉実践そのものを大きく規定し、支えるものである。それらの省察が実践研究の手がかかりとなり、実践の水準を高めていくことにつながる。

■ 企画 TFU実学臨床研究セミナー実行委員会



東北福祉大学
Tohoku Fukushi University

【お問い合わせ】

TFU実学臨床研究セミナー実行委員会 事務局
(実学臨床教育推進室内)

TEL 022-717-3359 FAX 022-301-1293
E-mail kenkyu-seminar@tfu.ac.jp

※平日8:30~17:30までお願いします(土日・祝日不在)

次回(31回:シンポジウム)のお知らせ

社会課題解決に向けた包摂(インクルーシブ)社会とは

■ 日時 2024年3月2日(土) 13:30-15:30

20240112